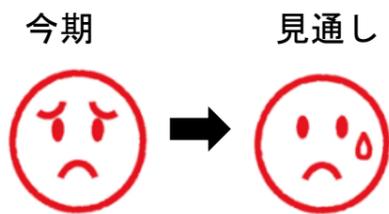


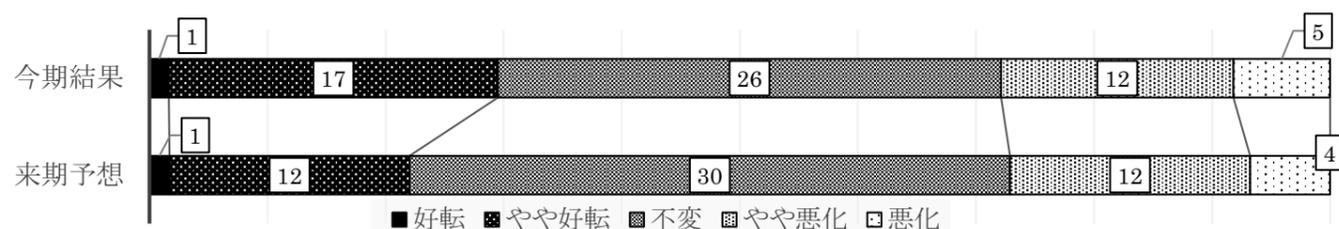
建設業

回答率：98.3% (61/62)



■丹波市の景況推移

新型コロナウイルスの影響により受注は減少しているものの、少しずつではあるがリフォームなどの見積もりが増えており、来期に向けては明るい兆しがみられる。



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

新型コロナウイルスの影響は、底を打った感がある。少しずつではあるがリフォームなどの見積もりが増え、着工の契約件数も増えている。

【丹波市の来期の景況予想】

消費者のマインドが落ち込み、引き続き受注減が続いているものの、来期に向けては少し見積り依頼も増加してきた状況である。来年、公共工事が減少するかどうか心配である。

■全国の景況動向

公共工事については、引き続き堅調であり、民間の住宅関連でも、新規着工やリフォーム等で延期していた工事が動いており、資材不足も解消されているため、復調の兆しがある。しかし、昨年ほどの工事量は確保できていない事業者も多く、消費者心理や投資意欲が冷え込んでいるため、今後の経済状況は不透明である。

■県下の景況動向

建設・建築工事の一部で停滞していた受注工事が再開しており、大きな回復には至っていないが、明るい兆しが見えている。住宅関連においても、少しずつではあるが、顧客との商談・販売も動きだしてきている。

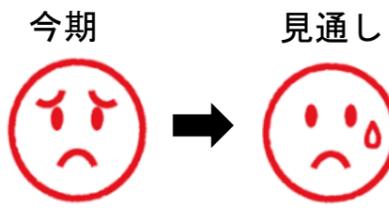
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	1	0	0	2	0	3	4.9%
不変	0	12	4	7	2	1	26	42.6%
悪い (悪化+やや悪化)	3	9	4	6	3	7	32	52.5%
合計	3	22	8	13	7	8	61	100.0%

製造業

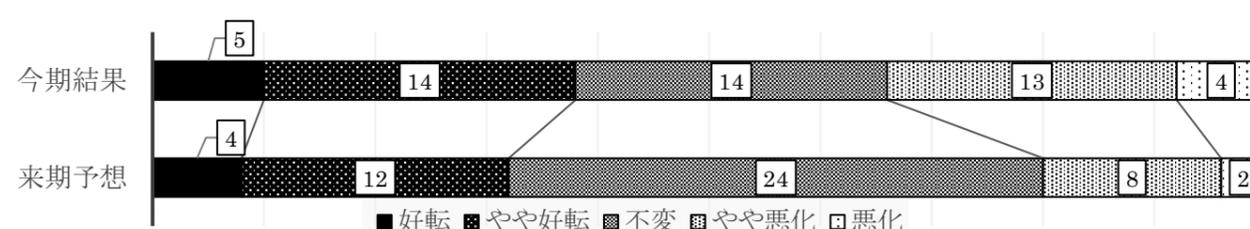
回答率：87.7% (50/57)

2020年7月～9月期調査



■丹波市の景況推移

新型コロナウイルスの影響による受注量、生産量は徐々に回復傾向であり、確実に業況は好転してきている。しかし、一部の業種、業態は依然として、回復に遅れが生じている。



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

新型コロナウイルスの影響は徐々に回復傾向にあり、通常稼働を行っている企業が見受けられる。しかし、前年度の水準までは回復していない状況で、一部の業種では雇用調整助成金でしのいでいる。

【丹波市の来期の景況予想】

例年通りには戻っていないが、確実に業況は回復傾向にあり、好転している。また、設備投資、人材の確保等を計画している事業所も見受けられる。

■全国の景況動向

新型コロナウイルスの影響は、製造業全体でみれば、業態により回復度合いが異なる。機械・金属関連は自動車メーカーの生産が回復傾向にあり、繊維関連は一部でマスクや医療用防護服等の売上拡大傾向にある。しかし、一方で展示会の中止や催事販売が再開しても客足が鈍い等、全体的に厳しい状況が続いている。食料品関連は需要分野が内食向け、外食向けによって大きな差がある。

■県下の景況動向

業況は回復傾向にあるが、前年度同期比で判断すると同水準まで至っていない。全国の景況動向と同様だが、業態によって回復度合いが異なっている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

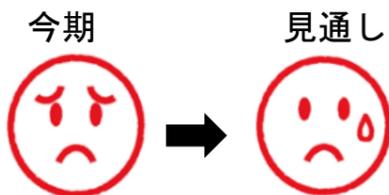
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	0	2	2	1	9	18.0%
不変	1	1	1	0	5	2	10	20.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	8	5	4	8	3	31	62.0%
合計	5	12	6	6	15	6	50	100.0%

小売、卸売業

回答率：93.2% (69/74)

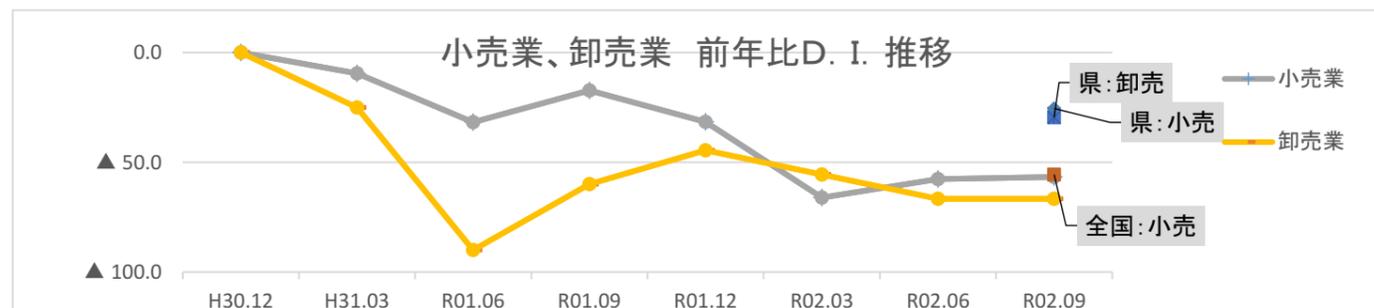


良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い



■丹波市の景況推移

衣料関連は残暑の影響で商品の動きが鈍く、売上増は厳しいが、食料品・耐久消費財関連は好調を維持しており、大規模な経済対策により消費マインドも向上し少し明るい傾向もみられる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

食料品類は日常的に必要なため大きな変動はなく、新型コロナウイルス前水準まで回復している。一方で衣料関連では、猛暑の影響で来店客数が減少し、売上が伸び悩んでいる状況である。

【丹波市の来期の景況予想】

GoTo キャンペーンなどによる大規模な経済対策の効果で個人消費の持ち直しが大きくなるとの期待が大きい反面、秋から冬にかけてさらなる感染者の再拡大を見た場合の、消費者マインドの悪化を不安視する声もあるが、大規模な経済対策により消費マインドも向上し少し明るい傾向もみられる。

■全国の景気動向

耐久消費財関連は、景気刺激策の効果もあり、好調を維持している。食料品関連は、内食需要は堅調であるが、天候不順による野菜の不作や鮮魚の不漁による価格の高騰等伸び悩みの傾向であった。衣料関連は、景気刺激策の効果もあり、人の動きは出てきたが、外出自粛傾向が根強く、また、猛暑の影響で秋物の動きが鈍く資金繰りの悪化がみられる。

■県下の景気動向

耐久消費財は新型コロナウイルスの影響が続いており、大手では一部持ち直しの企業もあるが、小規模事業者はいまだ厳しい状況が続いている。衣料品関連は残暑が厳しかったこともあり、例年より秋物の動きが悪い状況である。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	6	0	0	0	1	9	13.1%
不変	1	5	0	1	3	1	11	15.9%
悪い (悪化+やや悪化)	9	15	5	8	8	4	49	71.0%
合計	12	26	5	9	11	6	69	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

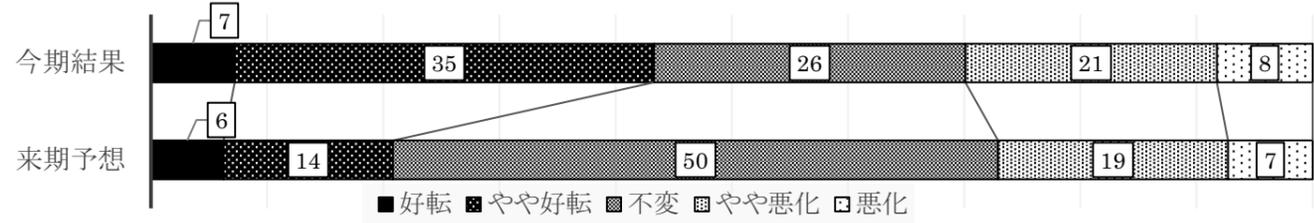
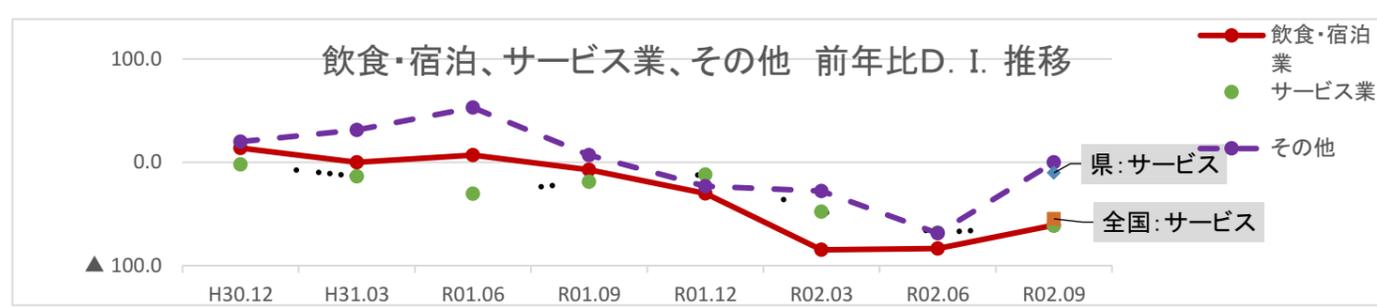
回答率：89.7% (96/107)

2020年7月～9月期調査



■丹波市の景況推移

今期は多くの業種で改善が見られ、来期もこの改善傾向が続くのではとの見方が広がっている。特に飲食業等では年末の繁忙期を迎える事もあり期待感も高まっていると推測する。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

理美容業は、新型コロナウイルスの影響により客数の減少傾向が継続している。飲食業では、都市部からの利用客の増加、また5人程度の小グループでの利用が戻りつつある。ただ、宴会や団体予約は変わらず厳しい状況である。

【丹波市の来期の景況予想】

今期は多くの業種で改善が見られ、来期もこの改善傾向が続くのではとの見方が広がっている。特に飲食業、娯楽サービス業では年末の繁忙期を迎える事もあり期待感も高まっていると推測する。

■全国の景気動向

業種により回復速度に差はあるが、多くの業種でプラスの傾向が見られた。巣ごもり需要拡大によりゲーム業界や音楽・娯楽関連業種が好調。またレンタカー需要拡大により自動車賃貸業の景況感は大きくプラスに転じた。一方で、飲食業等については新型コロナウイルスの影響色濃く、低水準での推移が継続している。

■県下の景気動向

全DIで4カ月連続改善。理美容業については、外出への抵抗が薄れ、顧客が戻りつつあるとのコメントが目立つ。宿泊業はGoToキャンペーンの効果により、宿泊客や予約が増加し、稼働率は上昇傾向にある。しかし、インバウンドや団体向けの施設からは、まだ厳しい状況が続いているという声が多い。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	4	3	1	0	0	2	10	10.4%
不変	5	10	3	3	4	2	27	28.1%
悪い (悪化+やや悪化)	14	17	4	10	6	8	59	61.5%
合計	23	30	8	13	10	12	96	100.0%